

古文化叢叢

第 70 集

四隅突出型墳丘墓の成立と展開	川 原 和 人	1
直刃鎌の使用	河 野 正 訓	31
近江における製塩土器の流通とその様相	八 木 宏 明	49
岩橋千塚の4つの築造集団	丹 野 拓	73
馬具のあり方からみた伊那谷についての一考察 ～轡を中心に～	堀 哲 郎	107
大宰府都城制研究の現在	小 田 富士雄	133
古代吉備の鉄生産	上 榮 武	157
築上郡上毛町で検出された方位の異なる 2つの道路遺構（駅路）について	日 野 尚 志	181
岡山市百間川米田遺跡土壙159出土遺物の再検討	福 田 正 繼	193
難波津から河尻へ—中世的流通構造の成立過程—	橘 田 正 德	201
高麗陶器大型壺の分類と編年 —生産からみた画期—	主 稔 英 徳	223
古代製鉄原料としての褐鉄鉱の可能性 —パイプ状ベンガラに関する一考察—	山 内 裕 子	243
7世紀史における舒明朝の意義	神 崎 勝	288

2013

九州古文化研究会